

「英語教育改善プラン」に基づいた教員の英語力・指導力向上に向けた取組～大分県～

【H26当時の本県の課題】 「英語が分かる生徒の割合が低い」、「言語活動の割合が少ない」、「小中高の連携が不十分」等

『大分県グローバル人材育成推進プラン』(H26) ⇒ 『大分県英語教育推進プラン』(H27) ⇒ 『英語教育改善プラン』(H28～H30)

『英語を使って、自分を語り、ふるさとを語る、大分っ子の育成』を取組方針とした、プランの実行による目標の達成を目指す。

- ①<<研修Ⅰ>>外部専門機関と連携した教員研修の充実 ⇒ 英語力向上、教員の意識改革へ
- ②<<研修Ⅱ>>英語教育推進リーダーによる研修実習の充実 ⇒ 同僚性からの学びの充実、受講者の指導力向上・授業改善へ
- ③<<成果波及>>各校で研修内容を生かした授業改善を推進 ⇒ 各校で生徒の英語力を向上させる授業を展開

①研修Ⅰ 英語力向上、意識改革へ

【外部専門機関と連携した教員研修】

- 英語担当教員指導力向上研修(中高対象、5日間、68名)
 - ・大学教授(県内大学等)による英語力向上のための講義・演習
 - ・外部検定試験トレーナーによる演習
 - ・外部検定試験実施担当者による情報提供、外部検定試験の受験
- 英語教育改善推進研修(小・中・高合同研修)(小・中・高対象、184名)
 - ・実践者(塾講師)による講義
 - ・県内指導教諭等による実践報告、小中高の連携に向けてのシンポジウム
 - ・小・中・高教員でグループ協議:「授業における言語活動の充実に向けて」
- 大学教授等による指導助言
 - ・指導助言に基づいた研修内容の見直し(効果的なPDCAサイクル)

中・高研修満足度

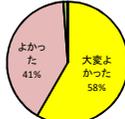


②研修Ⅱ 受講者の指導力向上、授業改善へ

【英語教育推進リーダーによる研修実習】

- 英語担当教員指導力向上研修(中・高対象、5日間、68名)
- 小学校英語教育推進研修(3日間、54名)
- ◇研修実習への支援
 - ・今年度講師:指導内容の打合せ、準備支援
 - ・来年度講師:研修実習の参観、来年度の研修実習に向けた協議実施
- ◇研修リーダーによる研究・実践報告、授業の動画配信

中高研修実習満足度



アンケート(毎回実施)を基にした研修の改善
内容:研修満足度、教員・生徒の言語使用率の変容、外部検定試験に向けた取組状況、校内での還流報告の状況等

効果の分析 ⇒ 受講者への指導 ⇒ 研修改善へ

③成果波及 研修を生かした授業を各校で実施

【中学校での授業改善】

- ・「新大分スタンダード」*による学校の組織的な授業改善を推進
- ・各地域での指導力向上協議会(研究授業)の実施

【高等学校での授業改善】

- ・「授業改善マイプラン」*(全英語担当教員が作成・提出)による授業改善
- ・研修内容を生かした公開授業・授業研究会の実施、リーダーによる公開授業

「新大分スタンダード」 小・中学校での目指す授業像を明確にしたもの(1時間完結型授業、板書の構造化等)
「授業改善マイプラン」 高等学校の授業改善が着実に進むよう、実施要領に沿って全ての教員が作成する計画

【研修成果の波及】

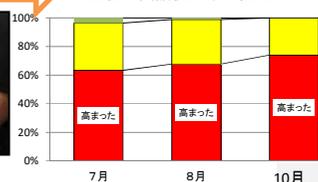
- ・県HPで動画公開(研修内容、研修受講者の変容、優れた授業実践)
- ・英語教育推進リーダー中央研修のDVD教材の活用(視聴報告書の提出)
- ・研修受講者の年間の取組状況を確認(最終報告書の提出(2月))
- ・授業改善の好事例を研修会等で紹介

指導主事による
学校訪問、
指導助言

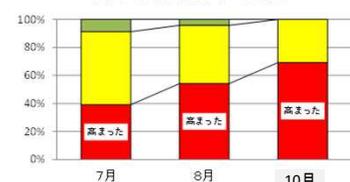
研修受講者の変容



生徒の英語使用率の変化



教員の英語使用率の変化



英語の授業が分かる生徒
54.8%に上昇(昨年51.2%)
(H30県内学習実態調査、高校1年生、約7000人)

求められる英語力を有する高校教員
77.4%に上昇(前年69.8%)
(H30英語教育実施状況調査)

大分や日本を英語で説明できる生徒
49.7%に上昇(昨年47.6%)
(H30県内学習実態調査、高校1年生、約7000人)

CAN-DOリスト設定状況 中学/高校
中学校:91.1%(前年73.6%) /
高校 :100%(100%)
(H30英語教育実施状況調査)



平成29～30年度「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」～大分県～

大分県杵築市内3協力校による小・中・高連携の取組

目的: 協力校が合同で授業研究や講義、実習等を実施し、小中高等学校を通じて、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力を養うため、目標、指導内容、指導方法、学習評価等について一体的に検討する。

杵築高等学校の取組と成果

【英語教育推進リーダーを中心とした取組】

≪研修の手法を取り入れた取組≫

○言語活動の充実を目指した指導

(One minute chat / retelling / mini discussion)

- ・コミュニケーション能力の伸長と英語による思考力・判断力・表現力等の育成
- ・CAN-DO リストに基づいたパフォーマンステスト、ルーブリックを用いた評価基準作りによる生徒の英語力の評価

○「授業改善マイプラン」による組織的授業改善

- ・各学校が定めるスクールプランに沿って、教員が各自で自身の授業改善へ向けての取組プランを作成

○ICTを活用した効果的な指導方法の確立

研修協力校3校の連携した取組

- 中高授業研究会(7月、11月 於: 杵築高校 近隣の中学校・高等学校の教員を招いての研究授業とその協議会)
- 小中高合同研修会(10月小・中学校教諭によるTTでの授業公開、外部講師による指導、協議等)
- 小中高合同研修への参加(9月4日の大分県全体の合同研修会、11月20日の山香中学校実地調査への参加)
- 外部検定試験等の活用(GTECの活用)

≪成果①≫杵築高校実施生徒アンケート(H29)の結果より

- (1)「中学時より話す機会が増えた」への肯定的な回答の割合 ⇒92.7%
- (2)「4月時点より即興で話せるようになった」の肯定的回答 ⇒59.2%
「4月時点より自分の意見を具体例を交えて話せるようになった」の肯定的回答 ⇒70.6%

≪成果②≫GTECの結果より

現2年生の1年次からのスコアの推移

実施時期	1年7月	1年12月	2年7月
平均スコア	333.6	367.9	427.5

≪成果③≫パフォーマンステストの結果より

現3年生が1、2年次に実施した、学期末のパフォーマンス評価におけるAの生徒の割合(「自分の意見を理由・具体例とともに述べる事ができる」と評価された生徒の割合)

実施時期	1年1学期	1年2学期	1年3学期	2年1学期	2年2学期
A評価割合	15.9%	50.2%	49.5%	54.5%	63.0%

≪成果④≫英語教育実施状況調査 杵築高校の推移

杵築高等学校	H28年度	H29年度	H30年度
国の求める英語力を有すると思われる生徒の割合	56.4%	69.7%	70.7%
C英Ⅰ: 言語活動の時間の割合が半分以上	100%	100%	100%
C英Ⅱ: 言語活動の時間の割合が半分以上	100%	100%	100%
C英Ⅲ: 言語活動の時間の割合が半分以上	0%	100%	100%

≪今後の課題・方向性≫

- 小中高のさらなる連携(小—高をいかに繋げるかが課題)
- 英検準2級以上の英語力を有する生徒の育成⇒授業内の言語活動の充実とパフォーマンステストの評価方法の確立

平成29～30年度「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」～大分県～

大分県杵築市内3協力校による小・中・高連携の取組

目的: 協力校が合同で授業研究や講義、実習等を実施し、小中高等学校を通じて、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力を養うため、目標、指導内容、指導方法、学習評価等について一体的に検討する。

杵築市立山香小学校の取組と成果

【取り組み】

- 山香中学校との連携(中学校教員との定期的なTT)
- APU立命館アジア太平洋大学への1日留学
- 事前の教材研究等の徹底、DVDの活用
- 小中合同研修会
- 小中高合同研修会

【成果】

- 授業のねらいの明確化
- 教室英語の運用力が向上し、単語や表現の効果的な導入が可能になった。
- 世界の国々の文化や日本の文化との違いに気付き、世界の国々への興味が広がった。

杵築市立山香中学校の取組と成果

【取り組み】

- CAN-DOリストの作成と活用⇒評価への反映
- ALTの活用(TT・パフォーマンステスト・英検補充学習)
- 山香小・杵築高との連携による授業力向上
- 研修内容を生かした組織的授業改善
(四技能のバランス 言語活動の工夫と評価
生徒指導の三機能を活用した授業 ICTの有効活用)

【成果の検証】

英語教育実施状況調査 【杵築市】	H28年度	H29年度	H30年度
中3のうち、英検3級以上を取得又は相当の英語力を有する生徒の割合	38.3%	43.8%	35.7%
「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標を設定している学校の割合	100%	100%	100%
授業で、発話の半分以上を英語で行っている教員の割合【1年】	80%	100%	100%
授業で、発話の半分以上を英語で行っている教員の割合【2年】	40%	100%	100%
授業で、発話の半分以上を英語で行っている教員の割合【3年】	20%	75%	80%

研修協力校3校の連携した取組

- 中高授業研究会(7月、11月 於:杵築高校 近隣の中学校・高等学校が参加)
- 小中高合同研修会(10月小・中学校教諭によるTTでの授業公開、外部講師による指導、協議等)
- 小中高合同研修への参加(9月4日の大分県全体の合同研修会、11月20日の山香中学校実地調査への参加)
- 外部検定試験等の活用の検討

【今後の課題】

- 英検3級以上の英語力を有する生徒の割合を増やす。⇒授業内での言語活動の更なる活性化。

